科目ナンバリング		U-LAS22 20001 SO48							
授業科目名 <英訳>	フランス語II A F2102 Intermediate French A				担当者所属 職名・氏名	非常勤講師 坂井 礼文			
群	外国語科目群			分野(分類)				使用言語	日本語及びフランス語
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習(外国語)(対面授業科目)		
開講年度・ 開講期	2024・前期		曜時限	月3		配当学年	2回生以上	対象学生	全学向
[授業の概要・目的]									
フランス文化									
<p>この授業では、『フランス、地方を巡る旅』(2017年)を用いて、フランスの地方ごとの特色を学んでいく。以前はフランスの地方は27あったが、2015年の領土改革により、地域圏の数がフランス本土13、海外領土5になり、半期の授業で全てを扱うことが可能となった。パリとイル・ド・フランスについては、この教材では触れられていないため、時間があれば、パリ周辺で撮影された動画をDVDで鑑賞することにより、首都の文化も紹介したい。</p> <p>より具体的に書けば、フランス各地の地理的特徴、産業、郷土料理などを取り上げていくことで、フランス国内の多様性について理解を深めていく。その際に、担当教員自身の旅先での体験談も折に触れて語ることで、単調な授業にならないように心がけたい。</p> <p>また、教科書の各課の最後に付いている文法の練習問題を解くことで、文法に関する知識も増やしていく。</p> <p>前期の授業では、教科書の前半を取り上げる予定である。</p>									
[到達目標]									
<ul style="list-style-type: none"> ・フランス語で文章を読む力を向上させる ・初級の授業で学んだフランス語の文法知識を深める ・音声を繰り返し聞くことで、フランス語の発音を聞き取り、自分でも正しく発声できるようになる 									
[授業計画と内容]									
<p>以下のように、基本的に2回の授業で、教科書の1課分を終えることを目安とするが、受講者のレベルに応じて、1回の授業で扱う分量を多くしたり、少なくしたりすることもある。</p> <p>第1回 授業の趣旨と教科書の特徴を理解する 第2-3回 「イントロダクション」 第4-5回 「第1課 ブルターニュ」 第6-7回 「第2課 ノルマンディー」 第8-9回 「第3課 オー＝ド＝フランス」 第10-11回 「第4課 グラン＝テスト」 第12-13回 「第5課 ブルゴーニュ＝フランシュ＝コンテ」 第14回 「第6課 オーヴェルニュ＝ローヌ＝アルプ」 第15回 フィードバック</p>									
----- フランス語II A F2102(2)へ続く -----									

フランス語II A F2102(2)

[履修要件]

「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。

[成績評価の方法・観点]

平常点は、出席状況・授業態度に基づき、30%を目安として付ける。また、期末試験の得点を70%として計算する。その後、平常点と期末試験の得点を総合し、成績を算出する。

[教科書]

ファビエンヌ・ギユマン 『フランス、地方を巡る旅』（駿河台出版社）

[授業外学修（予習・復習）等]

授業の前に各課の予習をしておくこと。その際に、文中に出てくる動詞の原形と時制も確認しておく。授業中にどの箇所が当たっても答えられるように準備しておくことが望ましい。

[その他（オフィスアワー等）]

どの仏和辞典でも良いので購入し、毎回持参すること。